



本巣市 議会だより

第24号



▲「席田小学校のいもほりの様子」

contents

新議員揃う	P. 2
9月議会開かれる	P. 4
7議員が一般質問に立つ	P. 5
委員会活動	P. 8
定例会で決まったこと	P. 10
市民の活動広場	P. 12

●新議員揃う●

新議員揃う



議長あいさつ
議長 遠山 利美



副議長あいさつ
副議長 道下 和茂



このたび議員各位多数のご推挙により議長に就任し、誠に光栄に存じますとともに、背負っている責任の大きさ、重さに身の引きしまる思いであります。

議会では、公平・中立な議会運営を心がけ、議会と執行部とが建設的な議論を交わし、市民の皆様に信頼される議会にしていきたいと考えます。

もとより微力ではございますが、地方自治の進展と住民福祉の向上のため、専心努力いたす所存でございます。市民の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。

このたび議長の補佐役として議員多数の推挙をいただき、副議長に就任いたしました。微力ではございますが、公正で円滑な議会運営を目指し、市政発展のために全力を注ぐ所存であります。

議会においては、無駄を取り除くチェック機能を果たし、本当に必要な投資ができる健全な財政運営を推進し、市民の皆様に納得していただける市政を目指していくたいと考えます。

今後とも皆様のご支援、ご協力を賜りますよう心からお願ひいたします。

●新しい議会構成決まる●

新議員紹介



瀬川 治男



後藤 壽太郎



上谷 政明



大西 徳三郎



遠山 利美



鶴飼 静雄



高橋 勝美



安藤 重夫



道下 和茂



中村 重光



村瀬 明義



若原 敏郎



江崎 達己



鍔本 規之



黒田 芳弘



船渡 洋子



臼井 悅子



高田 文一

新しい議会構成決まる

平成21年10月6日就任

議長

遠山 利美

副議長

道下 和茂

監査委員

高橋 勝美

(任期1年)

区分

委員長

副委員長

委員

議会運営委員会
(委員数5名)

鶴飼 静雄

道下 和茂

高田 文一

臼井 悅子

村瀬 明義

(任期1年)

常任委員会

総務企画委員会(6名)

文教福祉委員会(6名)

産業建設委員会(6名)

委員長

高田 文一

臼井 悅子

村瀬 明義

副委員長

若原 敏郎

船渡 洋子

高橋 勝美

委員

遠山 利美

大西徳三郎

鶴飼 静雄

上谷 政明

瀬川 治男

後藤壽太郎

安藤 重夫

道下 和茂

中村 重光

江崎 達己

黒田 芳弘

鍔本 規之

区分

委員長

副委員長

委員

議会だより編集
特別委員会
(委員数5名)

高田 文一

臼井 悅子

鶴飼 静雄

道下 和茂

安藤 重夫

もとす広域連合
議会議員
(議員数5名)

鶴飼 静雄

大西徳三郎

後藤壽太郎

船渡 洋子

黒田 芳弘

●9月議会開かれる●

9月議会開かれる

8月18日～9月4日、平成21年第4回定例会を開き、条例改正3件、補正予算3件、決算認定1件、意見書1件、その他2件を審議・決定しました。

今議会は、9月20日に市議会選挙が行われるため、8月の開会となりました。



●国に対する意見書を提出●

議員提案による意見書を可決

薬害C型肝炎・ウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書

- カルテがないC型肝炎患者についても手術記録、投薬指示書、母子手帳等の書面、医師などの投与事実の証明または本人、家族等による証明等も幅広く考慮することにより、薬害C型肝炎患者と認定し、「特措法」の適用による救済を図ること。
- ウイルス性肝炎患者が最良の治療体制と安心して暮らせる環境を確保するため、ウイルス性肝炎患者の障害者認定、障害者年金制度の拡充をはじめとした医療費・生活費の助成措置、インターフェロン治療費補助の改善等の早期実現を図ること。
- ウイルス性肝炎の専門的な治療体制の整備、とりわけ地域格差の解消と、肝炎治療法・治療薬の開発促進を図ること。
- ウイルス性肝炎の早期発見、早期治療と肝炎患者に対する社会的偏見、差別を解消するための啓発、相談支援の強化を図ること。
- 薬害再発防止策の構築を図ること。
- 総合的な肝炎対策の根拠法となる肝炎対策基本法を制定すること。

日 時	場 所	会 議 名 等	議員活動日誌																							
			10月30日(金)	10月26日(月)	10月23日(金)	10月22日(木)	10月20日(火)	10月19日(月)	10月15日(木)	10月9日(金)	10月6日(火)	9月24日(木)	9月4日(金)	9月3日(木)	8月28日(水)	8月26日(火)	8月25日(火)	8月24日(月)	8月18日(火)	8月11日(火)	8月7日(金)	8月6日(木)	8月5日(水)	8月3日(月)		
	可児市		もとす広域連合定例会閉会	もとす広域連合老人福祉委員会	もとす広域連合医療衛生委員会	もとす広域連合定例会	中濃十市議会議員研修会	議会運営委員会	議会だより編集特別委員会	議会だより編集特別委員会	議会だより編集特別委員会	議会だより編集特別委員会	議会全員協議会	糸貫分庁舎	真正分庁舎	産業建設委員会	文教福祉委員会	総務企画委員会	議会運営委員会	議会全員協議会	議会運営委員会	議会運営委員会	大和園	もとす広域連合総務介護委員会協議会	もとす広域連合老人福祉委員会協議会	もとす広域連合医療衛生委員会協議会

一般質問



9月定例議会

7議員が一般質問に立つ

- Q 地域経済対策について
①大型補正に対し、どのような
考え方**
- A 市民生活に密着した事業を
重点とし対応しました**
- Q 地方財政健全化法と
普通交付税について
①健全化法に基づく4つの指標
についての状況と分析は**
- A どの指標も昨年度より健全性を
示す数値となる見込みです**
- Q 決算認定前倒しの考えは
②9月定例会へと前倒しの検
討を進めます。**
- A ③普通交付税の増減とその原因、
また税収入の状況は**

藤原・市長

- Q 地方財政健全化法と
普通交付税について
①健全化法に基づく4つの指標
についての状況と分析は**
- A どの指標も昨年度より健全性を
示す数値となる見込みです**
- Q 土砂災害・水害対策について
①住民の危険に対する予備知識、
危険情報の伝達方法は万全か**
- A 交付金には制約があり、市独
自の事業は来年度以降に対応。**
- Q 市独自の新規事業展開は
③市独自の新規事業展開は**
- A 交通安全対策、公園整備、観光施
設整備等へ活用します。**
- Q 地方財政健全化法と
普通交付税について
①健全化法に基づく4つの指標
についての状況と分析は**
- A どの指標も昨年度より健全性を
示す数値となる見込みです**
- Q 婚活支援について
②どのような戦略で若者定住
を促進していくか**
- A 先進地の情報収集に努め、豊
かな自然に恵まれた本地域のPR
に努めています。**

鷲見・総務部長

高田・企画部長

- Q 土砂災害警戒区域の把握と対策、
砂防事業の状況と計画は
③土砂災害警戒区域の把握と対策、
砂防事業の状況と計画は**
- A 調査検討中で今年度中の指
定を目指します。また国等で行
われる砂防工事を今後も進めて
いただけるよう努めます。**
- Q 人事院の勧告に市職員給与
をどう対応するのか
①12月の期末・通勤手当は**
- A 国の取扱いを基本としたい**

藤原・市長

- Q 遊歩道の活用を啓発したい**
- A 文殊の森の遊歩道を活用した
森林ウォーキングの活動が実施さ
れ、多くの市民の健康増進の場と
して活用されるように啓発やPR
に努めます。**
- Q 平成22年度の市政運営と
予算編成方針について
①市政運営の具現化をどう指向
されるのか**
- A 前年度より約1億1千万円
の増額。税収見込みは約2億2千
万円の減額見込みです。**
- Q 生活基盤整備を重点に
②予算編成方針は**
- A 最小の経費で最大の効果を
示す方針です**
- Q 農地・水・環境保全向上対策
について
②農地・水・環境保全向上対策**
- A 積極的に要望する**

- Q 地域経済対策について
①大型補正に対し、どのような
考え方**
- A 市民生活に密着した事業を
重点とし対応しました**
- Q 土砂災害・水害対策について
①住民の危険に対する予備知識、
危険情報の伝達方法は万全か**
- A 交付金には制約があり、市独
自の事業は来年度以降に対応。**
- Q 地方財政健全化法と
普通交付税について
①健全化法に基づく4つの指標
についての状況と分析は**
- A どの指標も昨年度より健全性を
示す数値となる見込みです**
- Q 婚活支援について
②どのような戦略で若者定住
を促進していくか**
- A 先進地の情報収集に努め、豊
かな自然に恵まれた本地域のPR
に努めています。**

- Q 土砂災害・水害対策について
①住民の危険に対する予備知識、
危険情報の伝達方法は万全か**
- A 前年度より約1億1千万円
の増額。税収見込みは約2億2千
万円の減額見込みです。**
- Q 生活基盤整備を重点に
②予算編成方針は**
- A 最小の経費で最大の効果を
示す方針です**
- Q 農地・水・環境保全向上対策
について
②農地・水・環境保全向上対策**
- A 積極的に要望する**

- Q 平成22年度の市政運営と
予算編成方針について
①市政運営の具現化をどう指向
されるのか**
- A 前年度より約1億1千万円
の増額。税収見込みは約2億2千
万円の減額見込みです。**
- Q 生活基盤整備を重点に
②予算編成方針は**
- A 最小の経費で最大の効果を
示す方針です**
- Q 農地・水・環境保全向上対策
について
②農地・水・環境保全向上対策**
- A 積極的に要望する**



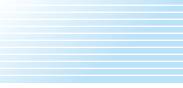
黒田

芳弘議員



高田

文一議員



●一般質問●

鶴飼
雄静 雄
議員

船 渡

洋 子
議員

Q 校庭などの芝生化を
「鳥取方式」という校庭や園庭の芝生化の取り組みが進んでいます。子どもたちにたいする教育的效果とともに、地域コミュニティ形成の効果も指摘されています。

A 協力が得られれば
地域が主体的に取り組み、行政がバックアップする形でも、試験的にでも実施してはどうでしょうか。

白木・教育長
村瀬・健康福祉部長

継続的な協力が得られる学校があれば実験的に実施したい。

Q 交通安全対策について

新しい道路や施設ができる道路事情が変化しても、交通安全対策はそれに見合った形になつていません。

A 10月目途に
委員会の要綱を整備中です。
10月を目途に立ち上げます。

A 法改正により農地の流動化が
思われ方向へ加速する懸念があり、地域に混乱を与えるようであれば、行政や農業委員会による監視を強めていく方策も必要と考えています。

Q 地産地消の現状と見通しは
地産地消推進委員会を設置、安全・安心な県内農産物や地域食材を安定的に納入できる組織づくりを進める方針でしたが、取り組みの現状と今後の見通しは。

本巣トンネル以北は、現行の本巣市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想に基づき特定法人貸付事業により対応。トンネル以南は、改正法による対応となります。地権者や地域農業者等との十分な協議が必要と考えます。

A 今後検討していくます
藤原・市長
地域の方々が、ボランティアにより芝植作業や芝刈りなど維持管理作業を継続的に実施していただけるような環境が整えば、苗などの必要な資材等の経費については今後市で検討します。

Q 「農地法等改正法」の取り組みは
西部連絡道路については、通行量の推移を注意しながら、必要に応じて公安委員会へ横断歩道の設置などを望します。

A 山田・産業建設部長
県道・国道について、交差点改良計画は財政状況が厳しく難しいとの県の回答を得ていますが、根気よく、国・県に対して要望します。

Q 地産地消の現状と見通しは
地産地消推進委員会を設置、安全・安心な県内農産物や地域食材を安定的に納入できる組織づくりを進める方針でしたが、取り組みの現状と今後の見通しは。

本巣トンネル以北は、現行の本巣市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想に基づき特定法人貸付事業により対応。トンネル以南は、改正法による対応となります。地権者や地域農業者等との十分な協議が必要と考えます。

Q 校庭・公園の芝生化推進で元気なまちづくりを
鳥取方式で芝生化すると除草剤や農薬を一切使用しないため、低コスト、環境と利用者に優しく専門業者でなくてもガーデニング感覚で親子・地域共同で取り組めます。市民の憩いの場づくりになります。

思われ方向へ加速する懸念があり、地域に混乱を与えるようであれば、行政や農業委員会による監視を強めていく方策も必要と考えています。

Q 「農地法等改正法」の取り組みは
①農地の確保と有効利用を図ることを目的として行われたもので、農家のほか都市住民や関連事業者等がいつしょに会社等を作つて農地を借り、農業に参入できますが、地域においては凹凸な受け入れや地域農業との調和の体制を整えておく必要があるのです。

A 十分な協議が必要
山田・産業建設部長
本巣トンネル以北は、現行の本巣市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想に基づき特定法人貸付事業により対応。トンネル以南は、改正法による対応となります。地権者や地域農業者等との十分な協議が必要と考えます。

Q 校庭・公園の芝生化推進で元気なまちづくりを
鳥取方式で芝生化すると除草剤や農薬を一切使用しないため、低コスト、環境と利用者に優しく専門業者でなくてもガーデニング感覚で親子・地域共同で取り組めます。市民の憩いの場づくりになります。

●一般質問●

Q 西部連絡道路を利用する車両が増加し、危険な状態

A 来年度本郷・臼内地区の歩道工事を行う予定です。
山田・産業建設部長

Q 通学路を再点検、西部連絡道路の利用もあるのでは

A 成瀬 教育委員会事務局長
歩道整備が完了した時点で再度、検討を行います。

Q 所轄の洪水対策について

A 手川・政田川の洪水対策について

Q 今年度の広域河川改修事業は

A 県へ強く要望

Q 本巣市内の本格的な河川改修の施行にはまだまだ時間が必要なため、早期着手できるよう県に強く要望します。

Q 政田川の県単河川局部改良は継続されていくか

A 今年度は地元から要望のあつた計画より上流の地区で整備されると聞いております。



若原

敏郎 議員



浅野

英彦 議員



Q 本巣市の農業政策について

A 本巣トンネル以北では耕作放棄地も増大し、荒れた環境下です。

Q ①耕作放棄地対策について

A 集落営農組織立ち上げをお願いしています

Q ③市は現状をどう考えているか

A 犀川・政田川については現在、河川改修事業が進行中ですが、事業推進が遅れているため、県に強く要望していきます。また点検、水防活動等ソフト対策についても取組強化します。

Q 不況が及ぼす大型商業施設への影響は

A ①観光事業の一環として、大型商業施設を利用できないか

Q 側面支援を検討

A ②入湯税の課税免除はどうか

Q 今年度の広域河川改修事業は

A ②入湯税の課税免除はどうか

Q 本巣市内の本格的な河川改修の施行にはまだまだ時間が必要なため、早期着手できるよう県に強く要望します。

Q 政田川の県単河川局部改良は継続されていくか

A 今年度は地元から要望のあつた計画より上流の地区で整備されると聞いております。



藤原 市長



浅野

英彦 議員



Q 本巣市内での休耕田を利用したコスモス等の景観作物や、野菜等の一般作物については産地確立交付金があり、自治会にて取組んでいたりしている農地・水・環境保全対策においても交付金がありますので、活用していただきたい。また、国が実施する耕作放棄地再生利用緊急対策交付金事業の周知をし、耕作放棄地解消に向け取組んでいきます。

Q 農業に対する各種協議会がある

A ③転作に対して南部と北部では環境など大いに違いがあるが、考慮はしているか

Q 協議会へ意見を伝えます

A 転作については本巣市水田農業推進協議会において協議されますが、環境の違いなどの考慮はされていないため、協議会へ意見を伝えます。なお、中山間地域の傾斜のある農地については「中山間地域等直接支払制度」の対象地となり、必要とされる集落は取組んでいただいている。

一般質問

A

施設設置支援を検討

藤原・市長

- Q ケアハウス等について**
 ①障害者のケアハウス、グループホームなどの建設を、NPO法人等による要望があるが、市としての考えは。

- A 生産調整の景観作物として転作奨励金を受け、ひまわりなどの景観事業等が行われていますが、市営の観光資源としての整備は困難です。**

- ②ダイヤ等について、樽見鉄道との協議をする考えはないか**
 ダイヤ改正の際には、教育委員会など関係機関との連携を密にし利用者の声を把握するよう樽見鉄道に対して指導します。

- A** 平成23年度までに、利用者数年間2万6千人、市バス全体について利用者1人当たりの市年間負担コスト800円以下のいずれかの数値が目標値です。

- ②観光、食文化のブランド化では、休耕地等を利用し花畑で観光資源とする考えは。**

- Q もとバスについて**
①採算性について目標金額等はありますか

- A** 藤原・市長
 国・県の財政支援、技術支援が得られるよう協力し、市としても国・県の支援に協調する方向で支援を検討します。

- Q 本巣市ブランド化について**
 ①農産物をランクアップするため、天敵、微生物等による防除に、本巣市独自の助成をする考えは。

- A 国・県に協調**

藤原・市長

- 本巣市障害者地域自立支援協議会を設置しており、協議会の意見も聞ながら、施設設置支援を検討します。



高橋秀和

議員

議員

委員会活動

総務企画委員会

8月26日(水)

審査付託案件

- 1.本巣市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例**

全員賛成

委員会協議会 協議事項

1.財政状況の報告について

- Q 財政状況の公表をもっと住民にわかりやすく説明してはどうか。**
A 機会ができたら、詳しく説明をおこなっていきたい。
Q 本巣市の標準財政規模はどの程度か。
A 約96億円です。

2.もとバス実証実験の経過報告について

- Q 無料化の拡大というのはできないか。**
A 現在検討をおこなっていますが、ある程度の利用者負担も必要であると考えます。



委員会活動

文教福祉 委員会 8月28日(金)

審査付託案件

1.本巣市国民健康保険条例の一部を改正する条例 ————— 全員賛成

協議案件

1.21年度本巣市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

- Q 介護従事者処遇改善臨時特例交付金の使用方法は。
A 今のところ具体的な使用法方はございません。

議会関係

1.意見書の取り扱いについて

- ・薬害C型肝炎・ウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書を提出することに決定。

文教福祉委員会協議会

- ・新型インフルエンザについての対応について
- ・電子黒板購入について



▲南部ふれあい会館

産業建設 委員会 9月1日(火)

審査付託案件

1.本巣市農業振興地域整備促進協議会条例の一部を改正する条例 ————— 全員賛成

2.字区域及び名称の変更について ————— 全員賛成

3.市道路線の認定について ————— 全員賛成

4.20年度本巣市水道事業会計について ————— 全員賛成

Q 給水原価はどれくらいか。

A 20年度の給水原価は1m³当たり112.3円。供給単価は101.28円です。

Q 未収金についての対応は。

A 督促状、未納のお知らせ、給水停止措置等を行い、滞納整理に務めます。

協議案件

1.21年度本巣市水道事業会計補正予算(第1号)

その他

- 質疑**
- ・耕作放棄地再生利用緊急対策交付金事業について
 - ・日当トンネル開通後の管理等について
 - ・屋井工業団地の企業誘致状況について



▲字区域変更場所

●21年度補正予算など決まる●

算など決まる

◎国民健康保険特別会計補正予算(第1号) (全員賛成) 【事業勘定】516万円増額補正 総額35億5516万円

◎主な内容

出産育児諸費 145万円
制度改正による、出産育児一時金の増額に伴うもの

【施設勘定】1171万円増額補正 総額3億171万円

◎主な内容

医業用機械器具費 513万円
地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業による医療機器の購入

◎水道事業会計補正予算(第1号) (全員賛成)

【収益的事業】100万円増額補正 総額3億3300万円

【資本的事業】945万円増額補正 総額3億9245万円

◎議決された議案

◎条例改正

- ・本巣市消防団員等公務災害補償条例の一部改正 全員賛成
- ・本巣市国民健康保険条例の一部改正 全員賛成
- ・本巣市農業振興地域整備促進協議会条例の一部改正 全員賛成

◎決算認定

- ・20年度本巣市水道事業会計決算 全員賛成

◎その他

- ・市道路線の認定 全員賛成
屋井工業団地開発により整備された道路の認定
- ・字区域の変更 全員賛成
地積調査事業による七五三の字区域及び名称変更

21年度補正予

◎一般会計補正予算(第2号) (全員賛成)

10億7895万円増額補正 総額143億1324万円

◎主な内容

歳入

地方交付税 2億2699万円

交付額決定に伴う増額

国庫補助金 5億8838万円

- 主に
 - ・子育て応援特別手当事業費交付金(4305万円)
 - ・学校情報通信技術環境整備事業費補助金(3400万円)
 - ・地域活性化・経済危機対策臨時交付金(4億7333万円)

繰越金 2億2709万円

歳出

地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業 5億8590万円

国の経済危機対策における、交付金を活用した事業

- ・少子高齢化社会への対応
 - 幼保・小中学校環境整備事業 老人福祉施設整備事業 等
- ・安全・安心の実現
 - 交通安全対策事業 消防車両整備 新型インフルエンザ等健康管理対策事業 等
- ・地球温暖化対策
 - 公用車等更新事業 地上デジタル対策事業
- ・その他
 - 観光施設整備事業 市営住宅改修事業 社会教育施設整備事業

住宅手当特別措置事業 904万円

障がい者自立支援事業 844万円

子育て応援特別手当交付事業 4571万円

成人保健事業 519万円

緊急雇用創出事業 571万円

小学校太陽光発電設備設置事業 2257万円

まごろ給食サービス

根尾地区において平成17年10月、社会福祉協議会のボランティアで立上げ。設立当初は21名でしたが、女性の会立ち上げに伴い、現在会員は31名まで増えています。現在は52歳～80歳の元気な女性で構成されています。



年間5回ほど活動をおこない、1回に約130食分の食を作り、75歳以上の独居老人及び、90歳以上高齢者を対象に、民生委員さんとともに配布しています。
(31人の会員を2班に分けておこなっています。)



食事をした高齢者の方からは、「毎回楽しみにまっている」との声をかけていただき、今後も続けていきたいと、励みになっています。

このほかにも、デイサービス、生活支援ハウス等で花壇の手入れや掃除などの活動もおこなっています。

まごろ給食サービスに関する問い合わせ

本巣市根尾門脇522番地 本巣市社会福祉協議会根尾支所 TEL.0581-38-3135